

# 『看護覚え書』の序章を掲載！

続き3

## 看護は何をなすべきか

6.私は他に良い言葉がないので看護と言う言葉を使う。看護とはこれまで、せいぜい薬を飲ませたり湿布剤を貼ったりすること、その過程の意味に限られてきている。しかし、看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静けさなどを適切に整え、これらを生かして用いること、また食事内容を適切に選択し適切に与えること。こういったことのすべてを、患者の生命力の消耗を最小限にするように整えること、を意味すべきである。病人の看護はほとんど理解されていない

7.女性は誰でも良い看護師になると、しばしば言われたり書かれたりしてきた。しかし私は、それどころか、看護をまさに構成しているこれらの基本要素についてさえ、実はほとんど知られていないと確信している。

8.だからといって私は、看護師がいつもその責めを大べきであると言っているのではない。衛生上の不備や建築上の不備、あるいは管理運営上の不備等が、看護を不可能にしているようなことも、よくある。しかし看護の技術というのは、私の考えている看護が実現できるように、これらもろもろの不備の調整をはかることそのものをも、含んでいるべきなのである。

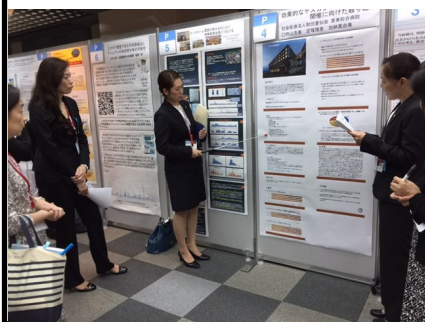
看護覚え書より引用



## 全日本病院学会in熊本

2016年10月8日・9日(土・日) 全日本病院学会が熊本県でありました。熊本県は、4月に震災を受けて、5か月。上空からは、ブルーシートに覆われた民家の家々が多くみられました。車窓からは、倒壊した家屋やブロック塀が、そのままの状態になっていました。まだ、ライフラインが復旧していない市町村もあると聞き、このような中での学会開催は、大変なご苦労があったと推察されました。ポスターセッションでは、本館6階東病棟の狩山浩美看護師と3病棟3階の定塚理恵看護師が、テーマ：効果的なデスカンファレンスの開催に向けた取り組みとしてポスター発表をしてきました。ポスター発表は、全136題

がありましたが、どの発表にも劣らず、力強く堂々とした姿で、質疑応答していました。



# なう 看護部Nau

平成28年10月  
第25号発行  
社会医療法人  
財団董仙会  
恵寿総合病院

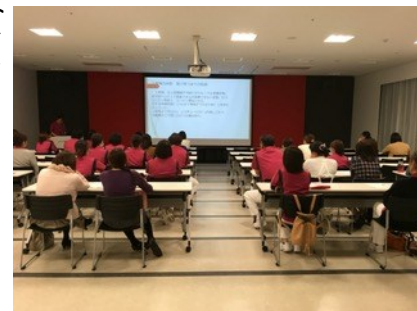
## 看護師特定行為研修スタート

10月3日に看護師特定行為研修センターが開講しました。第一期生は、船山真理子、山本美保、小崎孝幸、川江辰徳、谷口隆行さんの5名が入学しました。これから、業務と並行して、勉学に励みます。10月から来年3月までは、共通科目を履修し、4月から9月まで区分別科目の履修を受けます。10月には、特定行為看護師が誕生することになり、地域包括医療において活躍が期待されます。



## 2年目看護師事例研究発表会で成長見せる！

10月15日(金)講堂で、2年目看護師による、事例研究発表がありました。この事例をまとめるにあたり、担当部署の主任又は先輩看護師が支援にあたり、成果発表会を開催できるにことになりました。指導にあたった、5病棟5階の幸田正広主任は、「2015年就職の看護師の皆さんが、まずはこの1年半、恵寿の看護師として頑張り、このような形で発表が出来るまでに育ったというのが何よりも喜ばしいことです。看護師として恵寿を選び、恵寿で日々看護を実践するなかで、まだ実まではつけないとも、しっかりと芽を出し、枝や葉を確実につけはじめたと思います。彼女達一人ひとりの看護への思いを大切に育てていけるよう私たちがしっかりと栄養を与えなければならぬ」と思っております。恵寿に来てよかった、これからも恵寿で看護していきたい！と思えるよう、恵寿に根付くよう私達も環境を整え頑張らないといけなさと実感した」と話された。



### 【発表7演題】

- ◎死期の告知を受けた患者の精神的フォローからみえたこと  
本館4階西：黒田宏美
- ◎癌性疼痛を抱える患者の疼痛コントロールと退院に向けた支援について  
本館5階東：中川真理
- ◎胸椎圧迫骨折入院直後に呼吸不全をきたした患者の看護  
～回復に向けた多職種、家族との関わり～  
本館5階西：黒川恵梨
- ◎長期入院によるストレス患者の心理的援助  
本館6階東：裕 明里
- ◎終末期にある患者・家族との関わり  
5病棟3階：小島弥生
- ◎糖尿病から起立性低血圧を起こす患者の転倒予防の関わり  
5病棟5階：石黒高志
- ◎乳がんに対する不安と身体損傷リスク状態にある患者の看護  
手術室：川江 瑞稀

# 今回担当する本館6階東病棟です！

本館6階東病棟について、改めて紹介します。主に内科疾患患者（呼吸器・腎臓・糖尿病教育入院・循環器）や心臓血管外科（静脈瘤の手術）の患者を受け入れています。ほとんどが高齢者で、廊下を歩いている患者さんは限られています。中には突然歩きだして看護師が慌てることもあります。また、小児を受け入れることもあります。



## 平成28年度 病棟目標

1. 目標予算の達成
2. 転倒事故防止の強化
3. 退院支援システムの構築
4. 看護方式PNSの導入

## 今年度前期の取り組み

1. 申し送りの廃止
2. PNS導入に向けて、ペアで日勤業務を実施すること
3. 二交代制と三交代のMIXを開始



## チーム目標

Aチーム：退院支援システム使って受け持ち看護師が主体的に退院支援に関わることができる。

Bチーム：受け持ち看護師が中心となり退院支援に取り組むことができる。

# 感謝

いつも  
お手伝いありがとう  
ございます！



必要度のB項目も多く、今まででも他部署にお手伝いをお願いすることが多かったところへ、10月にはスタッフの退職、産休、体調不良などが重なりさらに人員不足になってしまいました。しかし看護部長の計らいと、本館4階西病棟の協力で、この1ヶ月貴重な人員を派遣していただきました。また、それでも業務が進まない時や、休日にはお隣の6階西病棟をはじめ、救急外来、手術室、5病棟3階などの他部署からも助けて頂き、本当にありがとうございました。どこの部署も決して人員が余っているわけではなく、忙しい事は変わらないのに配慮して頂いて、大変感謝しています。これに懲りずこれからもよろしくお願いたします



## New Face

### 藤本由美

10月から6東に配属となりました。わからないことばかりですが日々成長できるように頑張っていきますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 【6東の活動中間報告】

前期はなかなか積極的な退院支援に取り組むことはできませんでしたが、TQMで行っている正循環勤務の導入、PNSなど新しい事にもスタッフは意見をいながら実行してくれています。特に業務を引っ張ってくれる先輩たちと同様、若いメンバーも本当に頑張ってくれています。先輩の背中を見ながら、看護師としての自分の立場を理解し、今後活躍してくれることを期待しています。



## インフルエンザ抗原検査は、正しい検体採取

看護職の皆様、インフルエンザ抗原検査における正しい検体採取法を習得していただくためのDVDについてお知らせしました。DVDは、S→恵寿総合病院→23看護部→31研修資料のホルダー内にあります。インフルエンザ検体採取法をダブルクリックして、メディアプレーヤーで、再生してください。ノートパソコンなら、どのパソコンからでも見れます。視聴期限は1ヵ月です。看護師の検体採取手技の向上と標準化を目的としています。是非、ご覧下さい。

